

デザイン科学基礎講座：「人はなぜ、創造できるのか？」

本「デザイン科学基礎講座 ～人はなぜ、創造できるのか？」は、デザイン科学の基盤をなすAGE思考モデル、デザイン二元論、多空間デザインモデルの3つの理論を、創造の”体幹”と位置づけ、解説した。11月10日、17日、24日の全3回にわたり、松岡由幸（慶應義塾大学/早稲田大学）、宮下朋之（早稲田大学）、加藤健郎（慶應義塾大学）、佐藤浩一郎（千葉大学）、井関大介（東京造形大学）の5名の講師により、実施した。

参加者は、パナソニック株式会社、トヨタ自動車（株）、（株）本田技術研究所、シチズン時計株式会社、ANSYSなどの企業から9名、早稲田大学、大阪大学、東京大学、京都工芸繊維大学、長野高専、産業技術総合研究所などの教育・研究機関から10名、合計19名であった。

その結果、いずれも、時間終了後も様々な質疑が積極的に行われるなど、盛況であり、一定の効果が伺えることから、次年度も実施する方向で考えている。